

# 第32回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ

令和6年9月13日(金)、日本橋社会教育会館(東京都中央区)にて「第32回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本発表会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年1回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。

今回は32回目の開催となり、国土交通省や自治体関係者、学識者、研究機関や民間コンサルタントの関係者、ならびに当研究所のOB・OG等、対面で140名あまりの方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

発表会には、来賓挨拶として国土交通省水管理・国土保全局河川環境課の小島優課長よりお言葉をいただき、京都大学大学院地球環境学堂の山口敬太准教授をお招きし、『気候変動適応策としての「水と緑のまちづくり」の展望：海外事例からの学び』と題してご講演いただきました。その後、令和5年度当研究所で実施した研究成果から5題の発表を行いました。



小島課長の来賓挨拶



山口准教授のご講話

また、当日の様様を録画したものを抜粋して令和6年10月16日(水)よりオンデマンド配信しており、300名を超える方々に視聴頂いていますので、是非

ご視聴ください。

([https://www.rfc.or.jp/ivent2024\\_hokokukai.html](https://www.rfc.or.jp/ivent2024_hokokukai.html))

今回の発表内容を含めた令和5年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告第35号」は、当研究所ウェブサイト「リバーフロント研究所報告」(<https://www.rfc.or.jp/book3.html>)にてダウンロードが可能ですので、是非ご活用下さい。

公益財団法人リバーフロント研究所は、皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて、今後も河川・水辺、流域に係る諸問題の調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んでいきたいと考えております。

## ●プログラム(於：日本橋社会教育会館)

開会の挨拶 代表理事 塚原浩一

来賓の挨拶(敬称略)

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長  
小島 優

基調講演(敬称略)

➢気候変動適応策としての「水と緑のまちづくり」  
の展望：海外事例からの学び  
京都大学大学院地球環境学堂  
准教授 山口敬太

研究発表

- 舟運の基礎的調査と今後に向けた予備的考察  
水循環・まちづくり・防災グループ  
研究員 北澤 史
- 小さな自然再生から河川環境を学ぶ  
—職員研修支援—  
水循環・まちづくり・防災グループ  
主任研究員 和田 彰
- 河川生態学術研究会による政策提言の概説と  
ポイント  
自然環境グループ 主任研究員 内藤太輔
- 河川環境の定量目標検討に向けた考え方  
—実河川を事例として—  
自然環境グループ 主任研究員 白尾豪宏
- 治水と環境が調和した川づくりに向けて  
主席研究員 西村雄喬

閉会の挨拶 業務執行役 内藤正彦



会場参加者との意見交換